



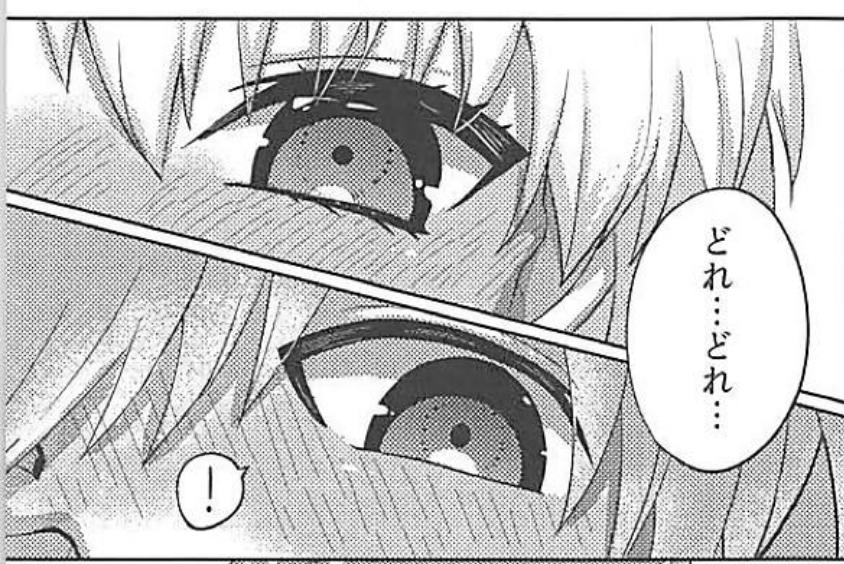
か  
う  
。

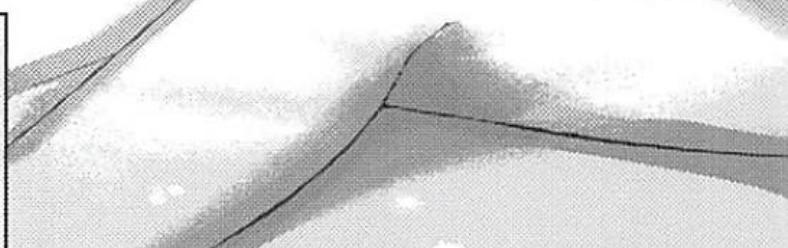
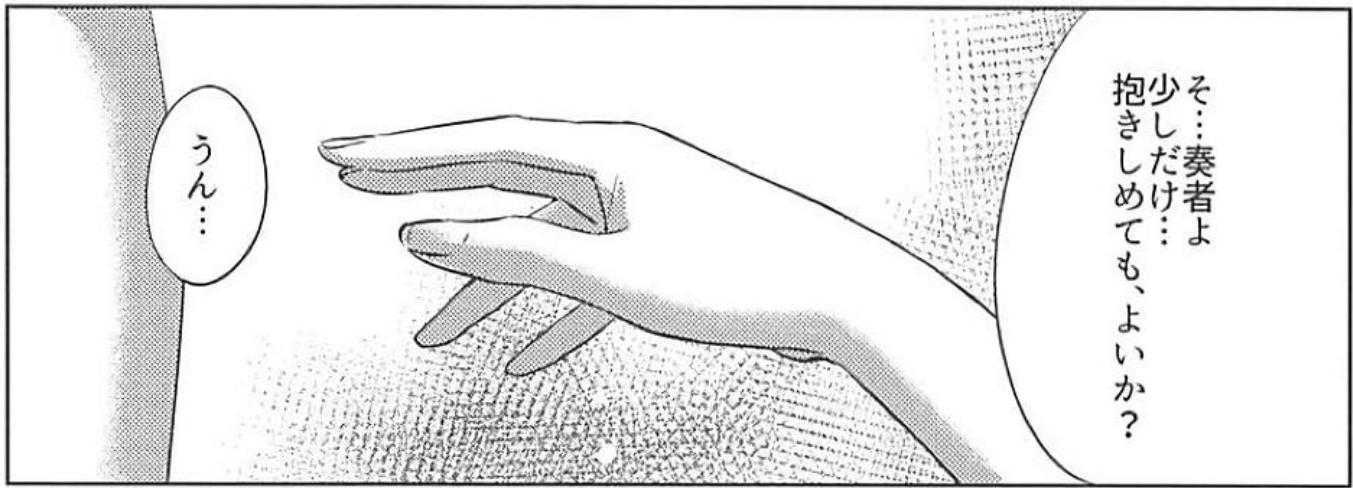
何を惚けておるか  
早く入つて来ぬか

奏者

ゴクリ









あつセイ…

特別ついでだ！  
余に任せがよい！

今日だけ、と、特別だぞ！  
ここは余と奏者  
二人だけの浴室だからな…

余も、奏者よ…  
同じ気持ちだ…

ふふつ、その目  
今すぐにでも余を  
抱きたいと見える

よ、よしつ！ ゆくぞつ！

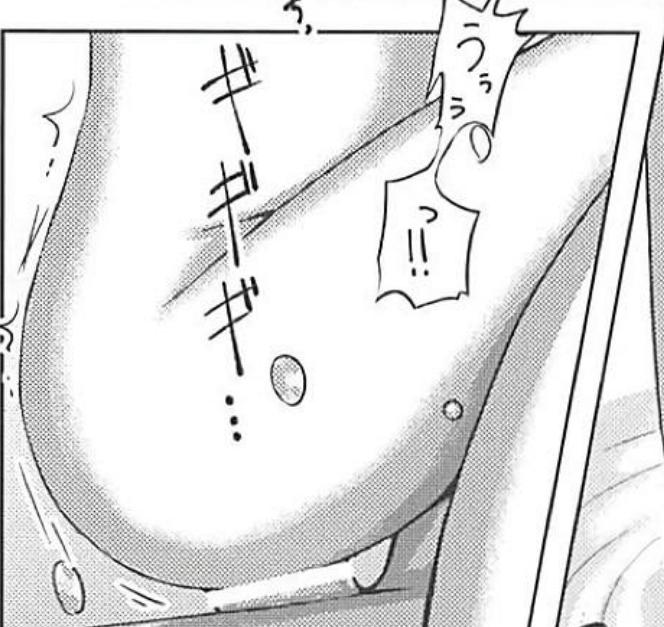
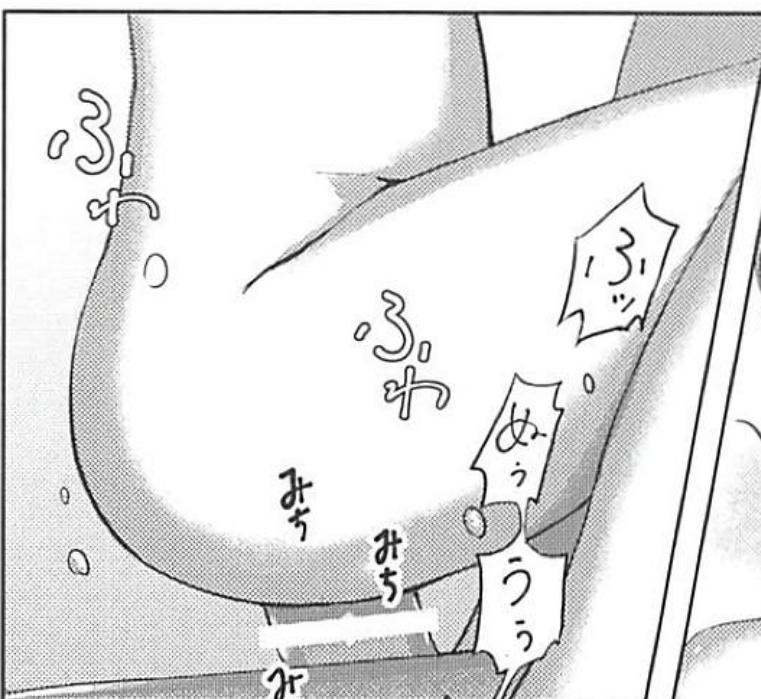
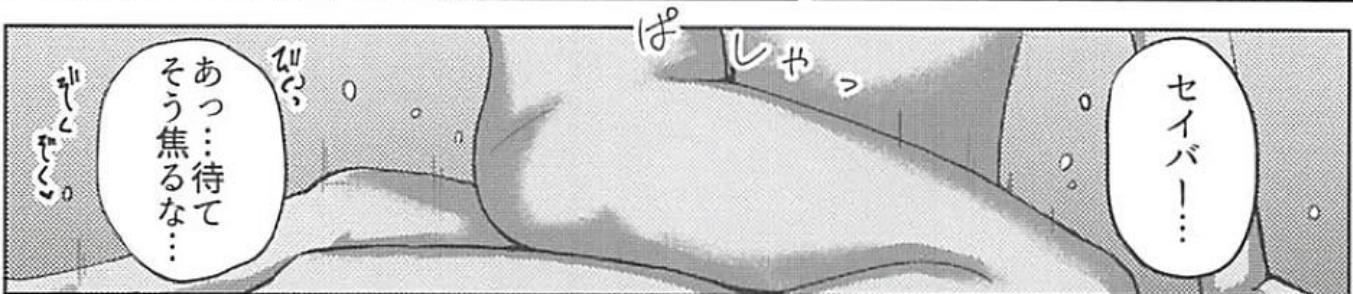
べつこいつやつめ！

ひあつ！?

あついいつ！

奏者の熱くてつ！  
火傷してしまいそうだつ！

セイバーつ…！  
セイバーの中も、熱い…つ！





う、うむ：  
いや、この程度  
すぐものにしてみせるつ！



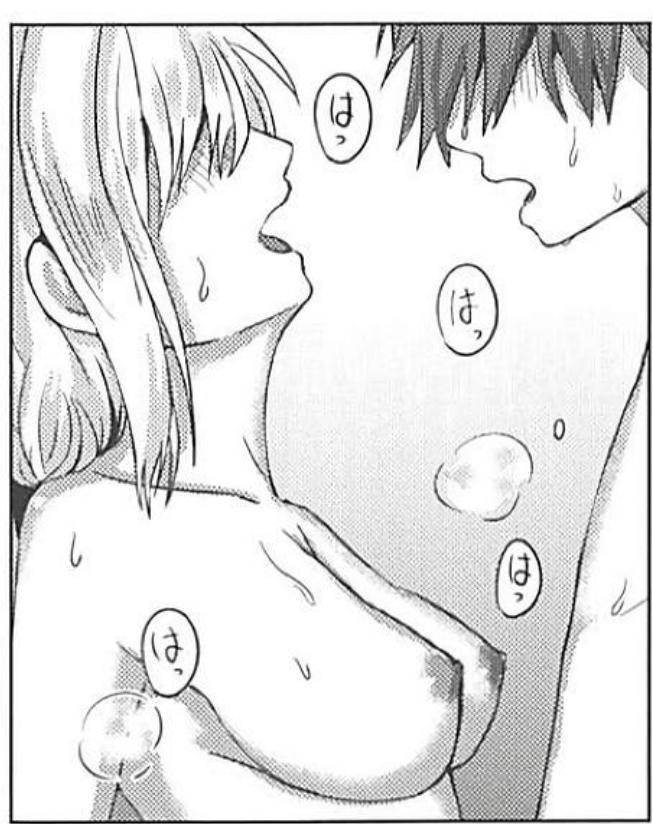


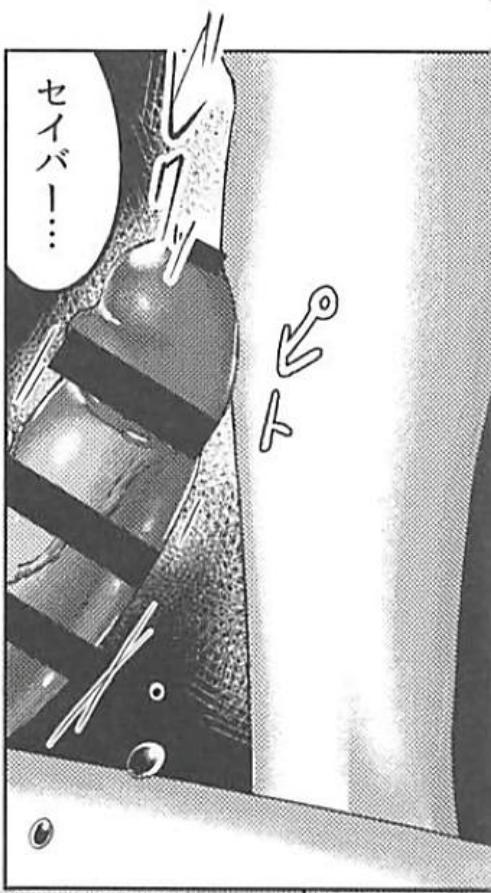


余は! 余はもうたまらぬつ!





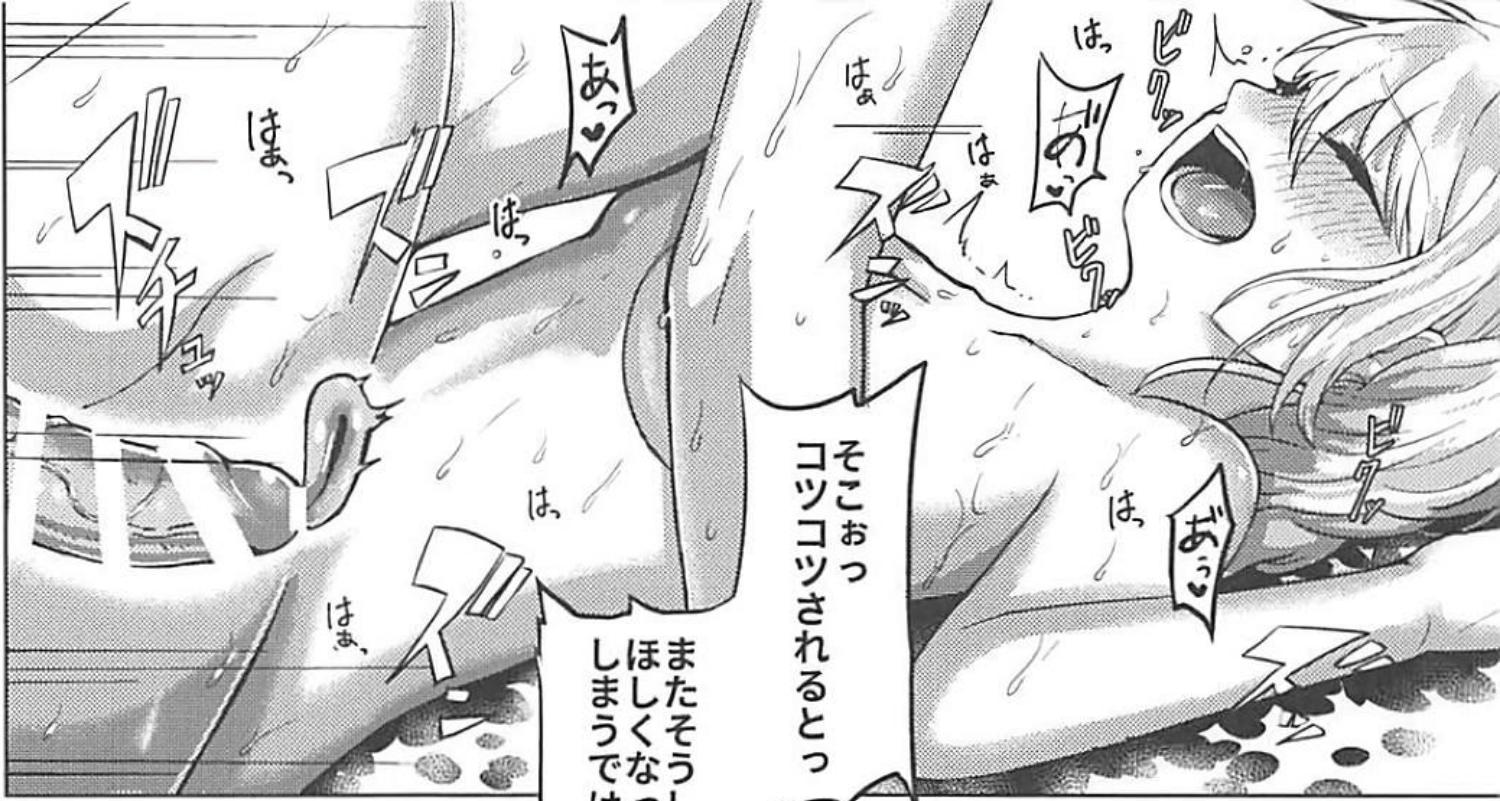






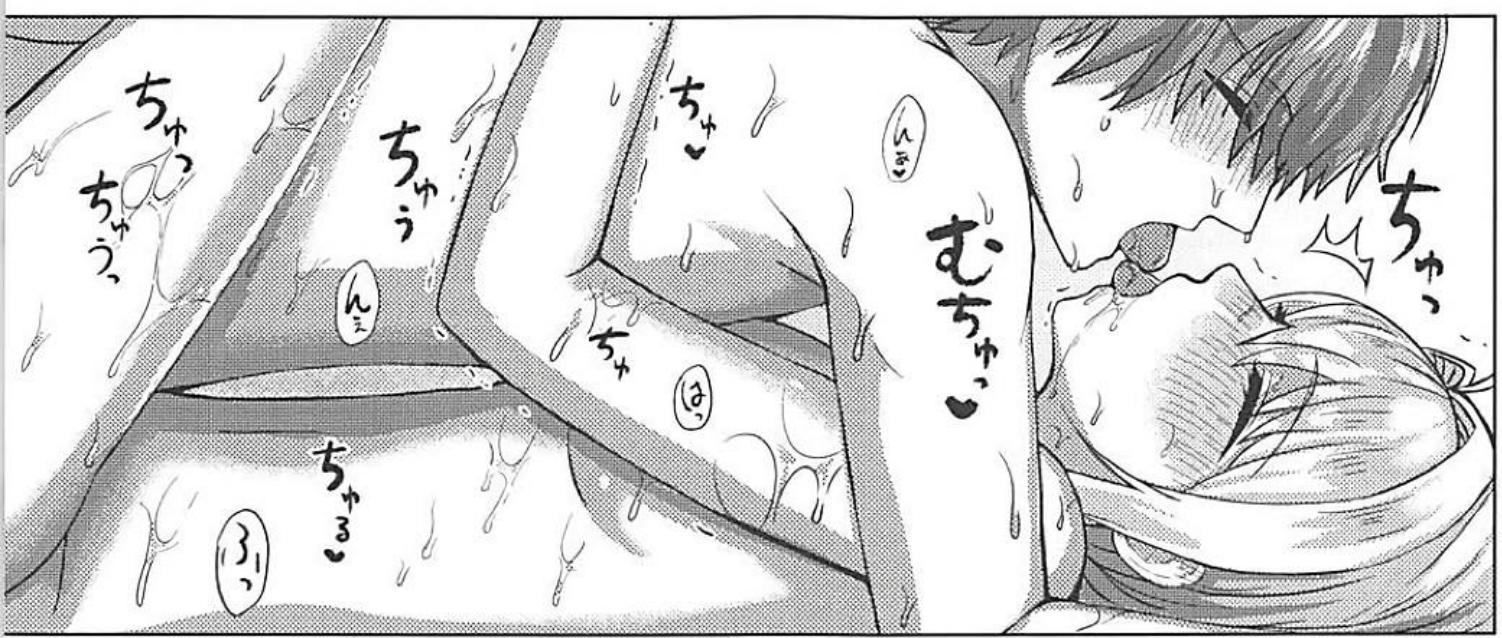
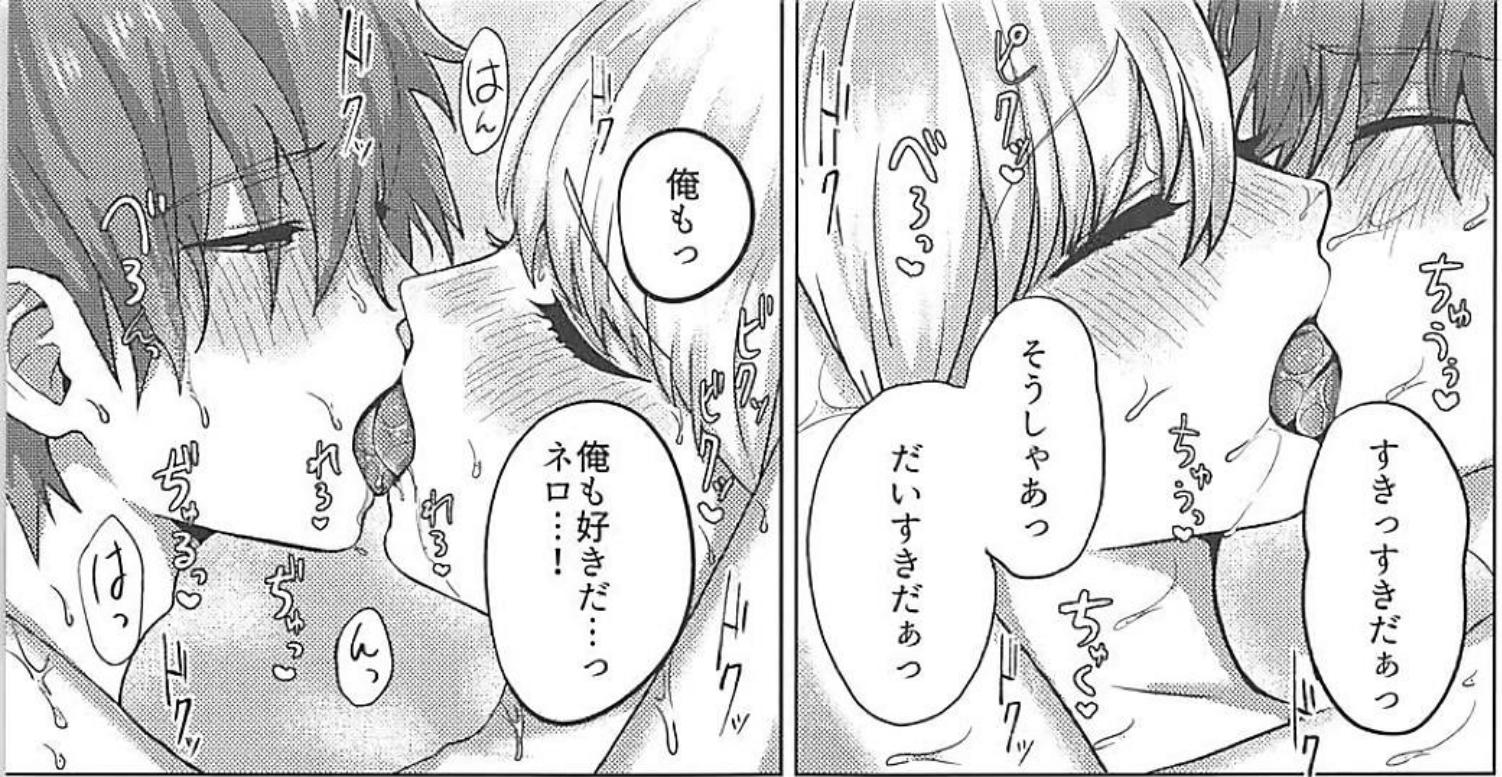












ふふ

せつかくのテルマエだというのに  
汚れてしまつたな

もちろん  
洗つてくれるのだろう?

ああ…俺も  
のぼせそうだ…

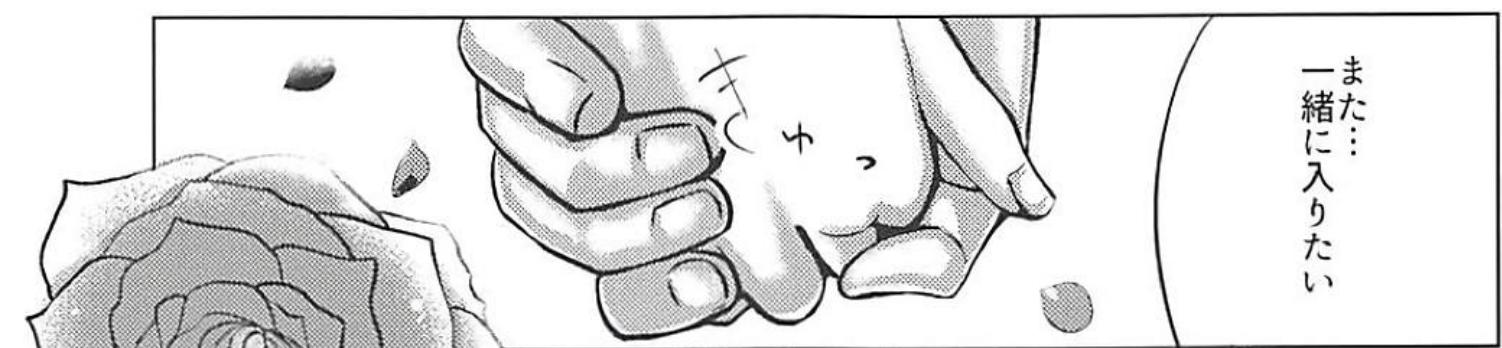
ボーッ



ふう



また……  
一緒に入りたい



……うむっ！



発行：GABUGABU/ガブリ  
mail:gaburigabugabu@gmail.com  
pixiv:29497309  
発行日：2018/6/24  
印刷会社：



※無断転載、ネットオークションへの出品を固く禁じます

